

# りそな外為レポート

## りそな WEEKLY COLUMN

### りそな外為レポート

#### ～上抜けてGO～ (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室  
カスタマーディーラー 中里 信介

今週のドル円予想レンジ **109.50 ~ 111.00**

### りそなWEEKLY COLUMN

#### 相場師 (P3)

埼玉りそな銀行 資金証券部  
担当マネージャー 津田 進

- そもそも相場師の語源は江戸時代の米相場の仲買人
- 本間宗久翁も参考にしたと言われる指南書とは

2021/6/21

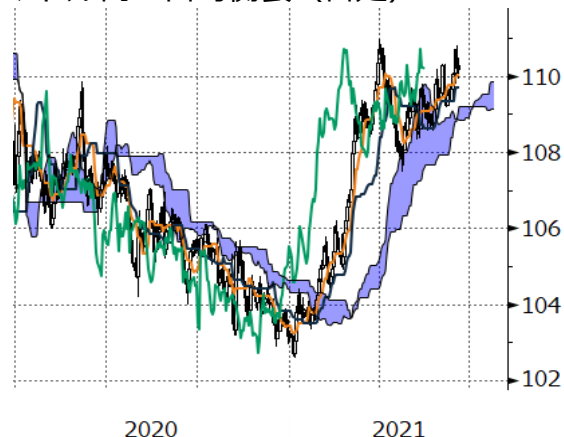
# りそな外為レポート

## ～上抜けてGO～

今週のドル円予想レンジ **109.50 ~ 111.00**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

### ◆ドル円一目均衡表 (日足)



### ◆為替相場のすすめ

先週は、週前半の様子見ムードと週後半のボラタイルな相場とで、マーケットの雰囲気が大きく異なる1週間となった。雰囲気を変えるきっかけとなったイベントであるFOMCでは、Fed高官の想定している将来の政策金利パス（ドットチャート）が公表されたが、事前予想対比“タカ派”な結果であると受け止められた。2021年3月会合時には、2023年の政策金利中央値は“0%”と見られていたが、今回会合時には同“0.5%”と2回（0.25%/回）の利上げが織り込まれる結果となった。ワクチン普及に伴う、パンデミックからの経済正常化が金融政策の正常化にも波及している形だ。為替相場ではこの発表を受けて、ドル高が大きく進行。ドルインデックスは大きく上昇し4月中旬以来の水準をつけた。ドル円相場では、発表翌日に110円台後半をつけ、3月末に到達できなかった111円台を伺う展開となったがその後失速している。ドル・円ともに買われている環境下、ドル円相場の動きは他の通貨ペアと比べると鈍い。一方で、ドル高基調は崩れないと想定し、引き続き早期のドル調達を推奨したい。

(カスタマーディーラー 中里信介)

### ◆今週の日程

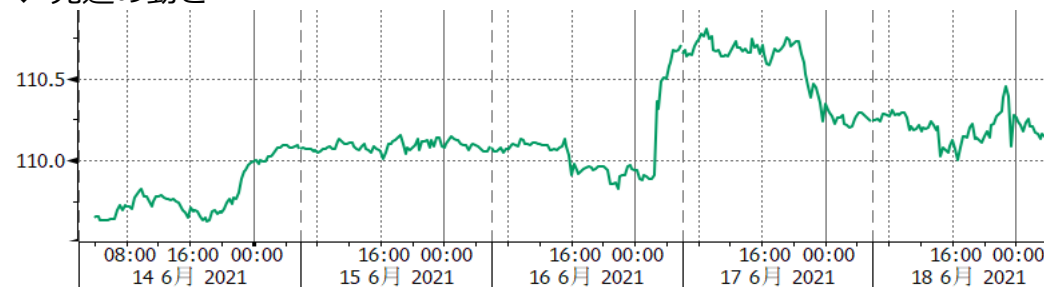
22日 (火) 米 5月中古住宅販売件数	24日 (木) 独 6月IFO景況感指数
22日 (火) 米 2年債入札	24日 (木) 英 BOE金融政策委員会
23日 (水) 欧 6月PMI	24日 (木) 米 5月耐久財受注
23日 (水) 米 5月新築住宅販売件数	24日 (木) 米 7年債入札
23日 (水) 米 5年債入札	24日 (木) 欧 EU首脳会議 (~25日)

### ◆今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓)

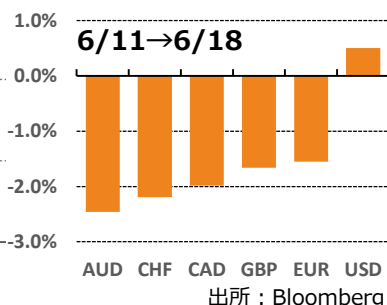
NY引け値 6月18日(金) 110.21円 VS 6月25日(金)

東京					大阪(りそな)					埼玉					大阪(関西みらい)					神戸										
井口	小林伸	石川	湊一	田中	湊真	中里	范	伊藤	村永	小林翔	鈴木	武富	上野	中太	石井	中根	津田	佐藤	中山	内田	荻窪	藤森	三好	石田	尾股	中野	苅谷	辻村	山木	下川
↑	↑	↓	休	↑	↑	↑	↑	↑	↑	休	↓	休	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑

### ◆先週の動き



### 主要通貨対円パフォーマンス



◆注意事項  
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/6/21

# りそな WEEKLY COLUMN

## 相場師

- そもそも相場師の語源は江戸時代の米相場の仲買人
- 本間宗久翁も参考にしたと言われる指南書とは

埼玉りそな銀行 資金証券部  
担当マネージャー 津田 進

### ➤ 堂島 謎の相場師

このコラムでも度々相場師の話が出ているが、一般に古いところでは、世界恐慌を予測したリバモアやD.W.ギャンなどが有名である。

しかし、それよりもはるか昔、わが国が誇る世界最初の先物取引所、大阪堂島で活躍した日本の相場師を放っておくわけにはいかない。

「本間様には及びもないがせめてなりたや大名に」で誰もが知る本間宗久翁は言わずもがななので、現代でも相場を見るうえで参考とするべき金言を残した大阪堂島のもう一人の相場師牛田権三郎氏について書きたかったのだが、本間宗久翁と違い伝記も記録もほとんどなく、その生き方を含め経歴は謎である。その代わりに、60年にわたる相場人生をもとに記した著書「三猿金泉秘録」が唯一残っているので、ほんの一部であるが紹介したいと思う。

### ➤ 聖典 三猿金泉秘録

「三猿金泉秘録」は260年以上前に書かれたものだが、「本間宗久翁秘録」と並ぶ聖典と言われている。米取引についての書物ではあるが、商いの方法、進退、駆け引きの秘伝をはじめ、古米の多少、相場の大勢、人気の観察、天災の駆け引き、高下の割合、サヤ開き、サヤ変わり、売買の仕掛け、一般の方略、相場の定式大綱が記されており、十分に現代の株や為替取引でも通用するものである。

題名に出てくる三猿に非常に意味があるのだが、なぜ三猿なのか、気になられていると思う。三猿と言えば一番に思いつくのが有名な日光東照宮の神厩舎の彫刻だが子育てに関する教示と言われており相場とは関わりない。では本著の題名にある三猿の意味は。これは、序文に記述されており相場に向かう心構えのことである。すべてはこの序文の一部に詰まっているとさえ思われるので、原文と大黒天氏による代表的な解説を並べて載せておく。

【原文】「三猿とは、すなわち見猿、言猿、聞猿の三つなり。眼に強変を見て、心に強変の淵に沈むことなかれ、ただ心に売りを含むべし。耳に弱変を聞きて、心に弱変の淵に沈むことなかれ、ただ心に買いを含むべし。強弱を見聞くとも人に語るることなかれ、言えば人の心を惑わす。これ三猿の秘密なり。金泉録として、この書の名とする」



# りそな WEEKLY COLUMN

【大黒天氏の解説】山門の入り口の庚申塚は、見まい、聞まい、言まい、の三猿とおしえられている。しかし、この世の中の出来事は、見まいとして見ずに過ごすことが出来ず、聞まいとして聞かない訳にいかない。要は、見て、これに感化されず、聞かされて、これに動かされざる金剛心、不動の心こそ持つべきであって、この心境に到達しなければ、米商いの秘伝奥義を感得することは出来ない

また、本編は百三十七首の和歌に託して相場を説いたもので、特に有名な二首が  
・万人が万人ながら強気なら たわけになりて米を売るべし  
・野も山も皆一面に弱気なら 阿呆になりて米を買うべし  
耳にされたことがあるかもしれない。

他にも有名な歌があり、

- ・買米を一度に買う無分別、二度に買うべし、二度に売るべし
- ・米安く人気も弱く我もまた、売りたいときは米の買い旬
- ・分別も思案もいらぬ買い旬は 人の捨てたる米くずれなり
- ・いつとても売落城の高峠 恐いところを売るが極意ぞ
- ・常弱気損得知らぬ大たわけ貧乏神の氏子なるらん

まだまだ、逆張り、順張り、難平、などの手法、駆け引きなどが百首以上詠ってあるので興味をお持ちになった方は、ご覧いただきたい。

原本も解説本も非常に古く著作権保護期間が終了しており、原本の写しは京都大学貴重資料デジタルアーカイブに所収されている。

<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00012360>

原本は毛筆の写真で読みづらいとおもわれるので、あわせて

大勢子 著「三猿金泉録講義」 毎夕新聞社版 国会図書館デジタルコレクション  
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/803879/30>

大黒天著「三猿金泉録講義」も同様に P D F は国会図書館デジタルコレクション  
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1028750/1>

をご覧ください。

参照 (校正) 三猿金泉秘録牛田権三郎遺稿、京都大学付属図書館谷村文庫

三猿金泉録講義 大黒天 著 東方日報出版部

三猿金泉録講義 大勢子 著 毎夕新聞社

## 人の行く 裏に道あり 花の山

千利休 (諸説あり)



## さすが国会図書館